

ありがとう高野高原スキー場

―地域に愛された40年―



高野町南に市が設置する「高野高原スキー場」が、今シーズンの営業を最後に幕を下ろします。約40年にわたり地域に愛されてきたスキー場を、地元関係者と振り返ります。

みんなの熱意が生んだスキー場

旧高野町にスキー場がなかった昭和40年代後半、スキーをするには近くの裏山や出来合いの斜面が利用されてきました。スキーを楽しむ人が増える



▲昭和53年当時のようす(落合祐一さん提供)

につれ、地域にスキー場の設置を望む声が上がりが始まりました。これをきっかけに有志が集まり、スキー場作りがスタートしました。道路から近く利用しやすいそうだった現在の場所を借り上げ、草木を刈り、重機を入れ斜面を整備しました。当時は資金がなかったため、町が一部休憩所となるプレハブや電気設備を整えた以外は、すべてボランティアで行いました。みんなの熱意が結集し延長約250メートル、幅約20メートルほどのコースがほどなく完成しました。

地域に親しまれた松の木スキー場

完成したスキー場は、スキー場作り携わった有志が所属する高野スキークラブが管理運営しました。経済的にも豊かになってきた時代、スキー人口も増え多くの子どもたちが利用するようになりました。昭和55年にはジュニアスキークラブが誕生。子どもたちの練習環境を良くしたいとコースを約530メートルに延長しました。以来、国体から出場する選手も数多く育ち、地域からは「松の木スキー場」として長く親しまれるようになりました。

閉鎖を惜しむ声



高野スキークラブ会長
もりやま しげのぶ
森山 茂隆さん

スキークラブと共に歩んだスキー場でとても思い出があります。継続を願っていましたが、閉鎖されるのは本当に残念です。



高野ジュニアスキークラブ部長
すだよす みちひで
須安 道秀さん

私も子どものころ毎日のように通い滑っていました。子どもたちの上達の場でした。なくなるのはさみしいですね。

▶プレハブは壊れるたびに改修した。資金難から募金を集めたこともあった。写真左奥が現在のセンターハウス。



◀当初のロープ塔は、トラックの動力を利用した手作りでの施設だった。その後、木材の集材機をロープ塔用に改造したものを利用。旧高野町の管理となった後Tバーリフトに。

3月31日で40年の歴史に幕

地元の有志から始まった高野高原スキー場。時代の流れとともにスキークラブから行政にと引き継がれ、庄原市合併後も唯一の市営スキー場として、冬場のスポーツ振興の役割を担ってきました。

しかし、利用者数の減少、維持管理費の増加などで経営が圧迫。今年3月31日で地元との指定管理の契約が終了することから、今シーズン限りでの閉鎖を決めました。

今後は、高野地域にもう1カ所ある「りんご今日話国スキー場」が、冬季スポーツの発展やジュニアの育成などを担い続けていられることを期待します。

ラストシーズンを楽しもう!

営業日および時間

土曜日 9時～21時
日曜日・休日 9時～17時
水・木曜日 18時～21時

料金

一日券・ナイター券
大人 2,000円
小学生 1,000円

※市民の方は半額で利用できます。

■問い合わせ

高野高原スキー場
☎0824-86-3004

